

射水郡城光寺村・山本家資料(23件 30点)

1. 古文書(8件8点)

通番	No	資料名称	年代	西暦	材質・技法	形態	点数	頁・丁数	差出(作成者)	宛先	寸法(cm)	備考
1	1	越中射水郡城光寺村御印	寛文10年9月7日	1670	紙・墨書	縦紙	1		加賀藩(前田利常の黒文円印「満」)	城光寺村百姓中	縦37.4×横57.1	・包紙あり(墨書「射水郡城光寺村百姓中」)。 ・草高 229石(外39石明暦2年引高)、免61%(内2.7%明暦2年上る)。小物成[山役124匁、鮭役 26匁、鱈役 12匁、獵船櫂役10匁(外10匁退転)、敷借利足 2.7石(明暦2年免除)]。
2	2	覚(射水郡城光寺村新開仮証文)	弘化3年11月	1846	紙・墨書	継紙	1		安田新兵衛等9人(改作奉行)	城光寺村当分肝煎 一ノ宮村与左衛門等6人	縦32.2×横122.8	・5石高程(城光寺村領小矢部川北縁舟渡場の下も田形新開)を7年間で新開予定。
3	3	乍恐再書付を以御願申上候(酒小壳商売再願書)	元治元年4月	1864	紙・墨書	継紙	1		西條組城光寺村 万右衛門	高嶋庄右衛門	縦23.9×横53.6	・奥書(同村組合頭 徳蔵、高嶋庄右衛門(十村)→今村五郎兵衛・中川丈之助(共に砺波射水御郡奉行))。 ・裏書(子(元治元年)5月 今村五郎兵衛)
4	4	城光寺村舟渡場米嶋村等和順に付橋自普請村方一統納得連署状	明治4年4月23日	1871	紙・墨書	継紙	1		城光寺村百姓 清蔵等25名	居村 源右衛門	縦24.0cm×横74.2cm	・奥書(城光寺村肝煎 清蔵・組合頭 清右衛門) ・裏書(高嶋廉太郎)
5	5	城光寺橋願合綴(城光寺橋賃錢取受願・橋流出に付船渡願)	①明治16年10月15日 ②明治14年7月	①1883 ②1881	紙・墨書	署紙綴	1(2点)	計7 ①⑤ ②②	①射水郡城光寺村平民願人 山本源右衛門等9人 ②石川県下射水郡城光寺村惣代 山本源右衛門等4人	①富山県令 国重正文 ②石川県令代理 少書記官 大越亨	縦24.1cm×横17.6cm	①同年12月5日許可、絵図あり ②同年同月30日許可
6	6	山本橋諸願合綴	①明治23年3月24日 ②明治19年12月 ③明治16年10月15日 ④明治15年1月31日 ⑤明治15年5月 ⑥壬申(明治5)4月 ⑦明治5年5月 ⑧明治4年4月 ⑨明治16年9月26日 ⑩明治23年2月 ⑪明治23年3月12日 ⑫明治20年2月 ⑬明治20年2月 ⑭明治19年2月5日 ⑮明治18年11月14日	①1890 ②1886 ③1883 ④1882 ⑤1882 ⑥(1872年) ⑦1872 ⑧1871 ⑨1883 ⑩1890 ⑪1890 ⑫1887 ⑬1887 ⑭1886 ⑮1885	紙・墨書	署紙綴	1(15点)	計33 ①① ②④ ③③ ④② ⑤③ ⑥② ⑦② ⑧② ⑨② ⑩③ ⑪① ⑫② ⑬③ ⑭④ ⑮②	①富山県知事 藤島正健 ②富山県 ③射水郡城光寺村平民願人 山本源右衛門等9人 ④石川県射水郡城光寺村惣代願人 山本源右衛門等4人 ⑤越中国射水郡城光寺橋惣代 山本源右衛門等4人 ⑥城光寺村組合頭 蔵野徳右衛門等6人 ⑦第18区一番組射水郡 米島村肝煎 真口孫八郎 第22区二番組射水郡城 光寺村組合頭 山本源右衛門等4人 ⑧射水郡西條組城光寺 村肝煎 徳蔵等6人 ⑨越中国射水郡城光寺 村平民願人 山本源右衛門等9人 ⑩射水郡樹開発村大字 米島村 橋持主 西野甚右衛門等7人 ⑪射水郡樹開発村大字 城光寺村字山本橋 持主 島甚左衛門等7人 ⑫射水郡城光寺村 謙渡 人 本長右衛門等9人 ⑬射水郡城光寺村 謙渡 人 川久吉等人 ⑭射水郡城光寺村 謙渡 人 蔵野清蔵等8人 ⑮射水郡城光寺村 謙渡 人 山本源右衛門等9人	①射水郡掛開発村 大字城光寺村 譲渡人 島甚左衛門 外6人、譲受人 谷源次郎 ② ③富山県令 国重 正文 ④石川県令 干坂 高雅 ⑤石川県令 干坂 高雅代理 石川県 少書記官 大越亨 ⑥七尾県駅逕掛 門 ⑦駅逕掛御役所 ⑧金沢藩 ⑨富山県令 国重 正文 ⑩大字城光寺村 山本源右衛門 ⑪同村大字城光 寺村橋持主 谷源 次郎 ⑫富山県知事 国 重正文 ⑬富山県知事 国 重正文 ⑭富山県知事 国 重正文 ⑮富山県知事 国 重正文	縦24.5cm×横18.8cm	①小矢部川架設山本橋私設営業権譲渡許可証、①と関連 ②「架橋免許命令書」綴(城光寺村私費橋梁設置に付、14条) ③橋賃錢取受之義二付願、同年12月5日許可 ④小矢部川渡舟等延期之義二付願、同年2月13日許可 ⑤橋梁出来二付賃錢受ヶ等願、同年8月4日許可 ⑥乍恐書付ヲ以奉願上候(橋営繕二備置度二付賃錢值上願)、壬申4月20日許可証写 ⑦越中国射水郡米島村城光寺村出合橋出来図書 ⑧書付を以奉願上候(城光寺村舟渡場に橋架渡願)、貼紙2枚(辛未(明治4年)7月許可、明治9年9月5日見届証) ⑨橋賃錢取受之義二付願 ⑩確約証(山本橋明治23年度買上に付)、5厘の証券印紙貼付 ⑪委任状(⑩に付)、①と関連 ⑫架橋出願人名之内譲換願、同年同月23日許可 ⑬架橋出願人名之内譲換願、同年同月23日許可 ⑭架橋出願人名之内譲換願、同年同月12日許可 ⑮架橋出願人名之内譲換願、同年同月20日許可
7	7	山本橋人足等書物帳合綴	①明治21年1月 ②明治22年1月 ③明治23年1月	①1888 ②1889 ③1890	紙・墨書	横帳	1(3点)	①④ ②④ ③②	①城光寺村・米島村 ②城光寺村 ③大字 城光寺村・ 米島村		縦12.1cm×横35.8cm	①山本橋人足等書物帳 ②山本橋人足等書物帳、綴紐に高岡片原町 志摩長平の伝票が縛り付け ③橋梁修繕人足書物帳
8	8	山本橋口入費取調割符帳	明治23年1月	1890	紙・墨書	横帳	1	7	大字 城光寺村・米島村		縦12.1cm×横35.7cm	表紙等一部欠損

2. 絵図(4件4点)

通番	No	資料名称	年代	西暦	材質・技法	形態	点数	頁・丁数	差出(作成者)	宛先	寸法(cm)	備考
9	1	西條組城光寺村山与二上山境界分間絵図	文久元年	1861	紙・彩色	継紙(軸装)	1		(本林為員か)		縦46.5cm×横170.0cm	縮尺 1/1200(分間図式100間曲尺5寸)。凡例4種。 木箱は博物館にて作成。 作者の記載はないが、下記の絵図と年代も近く、類似しており、本林為員(下記参照)の可能性もある(射水市新湊博物館 野積氏談)。
10	2	西條組城光寺村古高井新開三卦境界分ヶ領絵図	文久2年6月	1862	紙・彩色	継紙(軸装)	1		本林為員(殿村津幡江村住)		縦109.0cm×横171.0cm	縮尺 1/1200(分間図式100間曲尺5寸)。凡例11種。 本林為員(喜兵衛)は幕末～明治期の測量家。石黒信由の弟子。 木箱は博物館にて作成
11	3	二上山ヨリ四方遠山見渡之図	嘉永5年3月27日	1852	紙・墨画	継紙	1		(石黒信之)		縦23.5cm×横172.6cm	北は山伏山(現珠洲市)から石動山、西は宝達山、南は鐵崎山(現富山市龜谷)、東は駒ヶ岳(現魚津市三ヶ)にいたる山並みなどが描かれる。 【射水市新湊博物館 野積氏談】「嘉永4～5年に石黒信之が二上山の測量をしている。その時に作成されたものではないか。高樹文庫に同じものがある」 信之(1811～52)は信由の孫。
12	4	二上山慈尊院ヨリ本社マデ道筋絵図	嘉永5年	1852	紙・墨書・墨画	継紙	1		石黒信之		縦109.0cm×横171.2cm	【射水市新湊博物館 野積氏談】「作者は石黒信之。高樹文庫に同図(着彩)がある。高樹文庫のものは藩に提出したもので、本図は二上に残していたもの」。 13代加賀当主前田斉泰は嘉永5年4月4～5日、参勤交代で江戸からの帰途、巡見のため二上山に登った。これに際し、二上山慈尊院から日吉社・守山古城までの測量を命じられた石黒信之は、3月20日に測量を行い本図を作製した。道筋(朱)に沿った距離のほか右動山・立山・白山などへの方位とおよその距離が記されている。

3. 書籍(9件16点)

通番	No	資料名称	年代	西暦	材質・技法		点数	丁数	差出(作成者)	宛先	寸法(cm)	備考
13	1	『改正かな附商売往来』	江戸中期(宝曆12年以前)	(1762以前)	紙・製本		1	1,16,1	[大坂]糸屋市兵衛版		縦22.6cm×横15.7cm [半紙本]	巻頭に朱文方印「上坂家印」あり(上坂(コウサカ)家は現高岡市東海老坂の旧家)。表紙状態悪し
14	2	『詞の玉緒(コトハ)タマノオ』1～3巻	天明5年刊(安永8年成立)	1785(1779成立)	紙・製本		3	[1]3,48 [2]26 [3]30	本居宣長著。 [京都]菱屋孫兵衛版		各 縦26.0cm×横18.1cm [半紙本]	全7巻(4～7巻欠)。語学書(「てにをは紐鏡(ヒモカガミ)」の解説書)。
15	3	『将棋懐宗』	文化2年春(初版寛延4年)	1805(初版1751)	紙・製本		1	28	福嶋万兵衛著。 桂宵山人校正。 [江戸]和泉屋吉兵衛(泉栄堂)版		縦18.0cm×横12.0cm [小本]	将棋の定跡書。『象戯懐宗』とも。書外題『将基懐宗』。 福嶋(島)万兵衛(1692～1758)は大坂生まれ。
16	4	『志都乃石屋(シツノイワヤ)講本』上下巻	文化8年1月	1811	紙・製本		2	[上]3,6 3 [下]50, 4	平田篤胤著。早田弘道序、奥山正胤奥書。 [江戸]伊吹廻屋版		各 縦23.5cm×横16.3cm [半紙本]	医学・神道思想書。『医道大意』とも。上巻外題『志都乃石室』、下巻外題『静の岩屋』。上下巻共版心「志豆乃石屋」。上下巻外題に朱文円印「上坂」、巻頭に朱文方印「上坂家印」あり(上坂(コウサカ)家は現高岡市東海老坂の旧家)。共に綴紐切れ。
17	5	『金匱要略国字解(キンキヨウリヤクコクジカイ)』1～3巻	江戸後期再版(初版安永9年)	(1780)	紙・製本		3	[1]5,6,4,6,5,1, [2]11,66 [3]41 [3]48	[1]雲林院(ウジイ)了作編、橋本正隆筆授。 [2・3]鈴木定寛校正。 [大坂]宝文堂・定栄堂・二無堂合刻		各 縦22.0cm×横15.4cm [半紙本]	全5巻(4～5巻欠)。医学書(張仲景『金匱要略』)の和文注解書。 巻3は外題欠損。 3冊共巻頭に朱文方印「上坂家印」あり(上坂(コウサカ)家は現高岡市東海老坂の旧家)。
18	6	『百姓往来』	嘉永3年再版	1850再版	紙・製本		1	9	本細工所葉月堂蔵版		縦20.8cm×横14.7cm [中本]	書外題『百姓往来』。 巻頭に朱文円印「上坂」あり(上坂(コウサカ)家は現高岡市東海老坂の旧家)。 題に「新版」を付すものもある
19	7	『天満宮御伝記略』上下巻	嘉永4年10月	1851	紙・製本		2	①2,2,20 ②25,3	平田篤胤著、根岸延貞等編		各 縦22.0cm×横15.4cm [半紙本]	上下巻共見開き右下に朱文円印「上坂」あり(上坂(コウサカ)家は現高岡市東海老坂の旧家)。

20	8	『算法通書』上下巻	明治初期(初版嘉永7年3月)	(初版1854)	紙・製本	2	①1,3,3,5 2 ②85,1	長谷川善左衛門弘閑、古谷定吉道生編。数学道場蔵版。 [江戸]文会堂(山田佐助)・山静堂(山崎屋清七) 売弘書肆		各 縦18.0cm×横12.4cm [小本]	全3巻(中巻欠)。和算書。 上巻は外題なし。 下巻奥付に「東京 須原屋茂兵衛」以下東京の14の書林の名あり
21	9	『算法新書』	明治6年6月再版(初版は文政13年8月)	1873(初版1830)	紙・製本	1	4,3,3,2 26,1	長谷川善左衛門寛閑、千葉雄七胤秀編。数学道場蔵版。 [東京書肆]西宮弥兵衛・岡田屋嘉七・吉田屋文三郎		縦25.6cm×横18.0cm [半紙本]	和算書

4. 民俗(2件2点)

通番	No	資料名称	年代	西暦	材質・技法	点数	頁・丁数	差出(作成者)	宛先	寸法(cm)	備考
22	1	獅子頭			木・彫刻	1				幅17.4×奥行18.4cm ×高14.3cm	下記の天狗面と関連するならば、旧城光寺村の祭礼用と思われる。
23	2	天狗面			木・彫刻、漆塗	1				長18.6cm×幅15.3cm ×高10.6cm	裏面墨書「狛」、「■勇」、「■」。周縁漆剥落。 旧荷札メモ「高岡／ニ上山資／(城光寺天狗)」→旧城光寺村の獅子祭り用と思われる。